

上富総企第 503 号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

北海道上富良野町長 尾 岸 孝 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった標記の件について、
別紙のとおり意見を提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

(総務課 企画財政班)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 上富良野町

道路は、“地域と地域”“生活と生活”といったネットワークがしっかり形成されるよう整備が図られる必要がある。

高齢化・人口減少社会において、北海道は一層の集落の点在化が進むと考えられ、これに対応した安全でスピーディーな道路網の整備が必要となる。

災害時に、複数の避難路・物資補給路など多様な幹線道路網の充実を図り、災害に強い地域づくりが必要となる。

安全・スムーズな道路網の整備に加え、景観に配慮した道路整備などを進め、地域の活性化に寄与する方策が必要となる。

北海道などの寒冷積雪地域における冬季間の安全に配慮した道路整備が必要。

既存道路網を十分に活用し、最小限の費用で十分な維持が図られる施策の工夫が必要。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー１地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道 上富良野町

○現状	○課題
(1) 十勝岳噴火災害への対応 主要幹線道路が一般国道 237 号線だけであり、通行止めの際に大きく迂回した道路での避難や物資輸送を余儀なくされる。 (2) 道路・橋梁等の維持管理 町の財政上の問題などから、道路・橋梁等の維持・修繕・更新が十分でない。 (3) 観光への道路行政の波及 シーニックバイウェイ北海道の取り組みを進めているが、地域への定着が十分でない。	(1) 災害時の通行止め等による避難道路・物資輸送のための多様な路線の確保が望まれている。 (2) 市町村道において道路の維持・管理上の予算が限定され、施設の老朽化への対応がごてに廻り、道路施設等の長寿命化を図ることが難しくなっている。 (3) 地域の良好な景観を道路を視点として捕らえることで、道路を基点とした観光の振興を図るべく、シーニックバイウェイ北海道の取り組みを進めているが、地域の活動団体が真に自立し、観光業として効果を実感できる取り組みにまで育っていない。

②ー２地域の目指すべき将来像

北海道 上富良野町

自然災害に対する備えとして、道路行政の担うものは大きなものがあり、近年のゲリラ豪雨や活断層に起因する直下型地震のような想定しがたい災害に
対し、どのような対策を講じていくのか、道路網の寸断が災害の規模を左右する場合も多いのではないかと考えます。特に本町は活火山十勝岳を抱えている
ことから、噴火災害への対策は大きな課題であります。地域の将来像で最も重要なのは安全な地域であり、道路行政のみならず、火山砂防・河川・道路・
港湾など様々な分野が連携し、一体となった総合的な災害対策の講じられた安全で安心な地域を望みます。

市町村が点在する北海道においては、地域の中心となる市町に多くの生活機能が集約され、圏域での相互補完により住民生活が成り立っている地域が少
なくないと考えられます。特に医療においては、地域の中心となる市町への集約化は著しく、救急だけでなく日常の自家用車・路線バスなどによる通院圏
は益々拡大すると考えられ、全国的に人口減少の進む時代となり、このような傾向は一層進むことから、効率的に短時間で安全に移動できる道路網の計画的
な整備がすすみ、圏域全体が発展することが必要です。

雄大な自然と美しい景観を有する北海道においては、これまでの景勝地・観光地といった点の観光から、移動そのものが美しい景観を体験することがで
きる線の観光への転換が必要であり、北海道内の移動の多くを占める乗用車やバスなどの車窓からの景色が観光価値を一層高めるよう「視点場」としての
道路整備を進めることにより、地域の観光価値が向上し、地域全体の経済的活性化が図られることが望まれます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

北海道 上富良野町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
(2) 地域活力の向上	シーニックバイウエイ北海道の推進	道路に交通以上の景観の意義付けを行ったことは、今後の道路行政にとって多様な価値観の導入のさきがけとなっており、地域の期待は大きい。	
(5) 水害等の災害に強い国土づくり	高規格道路 旭川十勝道路	災害時の複数の道路網によるスムーズな避難経路の確保と救援物資等の復旧活動を支えることができる。	
(10) 良好な景観の形成	一般国道237号線の整備	景観に配慮した、道路交通以上の価値を付加した取り組みが進められており、良好な景観を見るための視点場の整備など、地域振興に寄与している。	